

「三重県観光振興基本計画（令和6（2024）年度～令和8（2026）年度）」中間案に対するご意見と県の考え方

1. 意見募集期間 令和5年10月11日（水）から11月9日（木）まで
2. 意見数 2件
3. 寄せられたご意見に対する対応状況
  - ①反映する：最終案に意見や提案内容を反映させていただくもの（1件）
  - ②反映済：（0件）
  - ③参考にする：（0件）
  - ④反映又は参考にさせていただくことが難しい：県の考え方や、施策の取組方向等と異なるもの（1件）
  - ⑤その他（①～④に該当しないもの）：（0件）

番号	該当箇所（ページ）	ご意見の概要	対応区分	ご意見に対する考え方
1	施策の柱1： 質が高く、持続可能な観光地づくり 戦略1-3： 三重の特色を生かした滞在型観光の推進 (2)「三重にしかない」食を生かしたツーリズムの推進 【P19】	「食を生かしたツーリズム」の中に、「GI三重」に代表される三重県産の日本酒を三重の食とともに楽しむツアー、「美食の聖地 三重の酒」という概念を具現化していくことを提案するとともに、本基本計画にその旨の表記を求める。	①	ご意見をふまえ、下記内容を追記しました。 ・三重県の食や食文化の強みを生かし、ガストロノミーに高い関心を持つ旅行者を新たに誘客していくため、三重でしか食べることができない料理や地酒が味わえ、その地域の食文化を知り、学び、体験できる滞在価値を創出し、発信することで、ガストロノミーツーリズムを推進します。 ・日本酒の地理的表示「GI」指定を受けているGI三重の日本酒が作られた酒蔵の散策や、これらの日本酒に合った料理、器、お土産等を組み合わせたツーリズムを推進し、インバウンドを含む消費単価の高い顧客層へ広く発信します。
2	第1章 計画の方向性 3 計画のコンセプト 【P2】  施策の柱1： 質が高く、持続可能な観光地づくり 戦略1-2： 観光の質の向上による高付加価値化 (1) 高付加価値旅行者から選ばれる観光基盤の充実 【P15】  施策の柱2： 戦略的な観光誘客の推進 戦略2-2： 国内観光誘客の推進 (2) 大規模イベントや周年事業を契機とした誘客の推進 【P29】	・2027年リニアの品川-名古屋間の開通、2029年大阪IR開業は無いのではないかと。 ・熊野古道伊勢路の世界遺産登録20周年行事は行わないほうがよい。 ・世界遺産登録20周年を迎える熊野古道伊勢路について、「歩き旅」のブランドイメージ浸透による取り組みはしないほうがよい。	④	・リニア品川-名古屋間の運行開始予定、大阪IR開業予定は、三重県観光の振興に関して好機となる例として記載したものです。 ・熊野古道世界遺産登録20周年を契機とし、周年事業の実施や「歩き旅」のブランディングを推進することで、さらなる誘客促進につなげます。